

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	23
支出年月日	令和元年 11月7日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 元 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）

別紙参照

充当内容 (按分の計算方法)	研修（地方財政制度と予算審議の基本講座）参加に要した交通費 ※阪神芦屋 ⇄ 梅田、大阪メトロ西梅田 ⇄ 淀屋橋 肥後橋
その他	資料等

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収証

No

様

大原

金額	万	千	百	十	円
2	9	1	9	0	0

- 但し
 1 乗車券類
 2 チャージ代
 3 その他()

上記の金額正に領収いたしました

2019年11月17日

取印紙印

- * 特とめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
 23-2
 * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
 * 領収書等が封内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

阪神電気鉄道株式会社
運輸部


証

No

様

大原

現金	クレジットカード
その他()	

現金	クレジットカード
その他()	

- 但し
 1 乗車券類
 2 チャージ代
 3 その他()

上記の金額正に領収いたしました

2019年11月17日

取印紙印

阪神電気鉄道株式会社
運輸部


領 収 書

No.

券種	大人	小児	特割
普通券 1・2・3・4・5 区	枚	枚	
回数カード	枚	枚	
一日乗車券 (平日・土日祝)	枚	枚	
バス回数券 (普通・昼間割引)	冊	冊	
連絡普通券 (北急・近鉄・阪急)	枚	枚	
ICチャージ	□		

¥ 100-

ただし、左記該当券種に関わる運賃として上記の金額を領収しました。

収入印紙

大阪市高速電気軌道株式会社

2019年 11月 7日

西梅田 駅

印

領 収 書

No.

券種	大人	小児	特割
普通券 1・2・3・4・5 区	枚	枚	
回数カード	枚	枚	
一日乗車券 (平日・土日祝)	枚	枚	
バス回数券 (普通・昼間割引)	冊	冊	
連絡普通券 (北急・近鉄・阪急)	枚	枚	
ICチャージ	□		

¥ 180-

ただし、左記該当券種に関わる運賃として上記の金額を領収しました。

収入印紙

大阪市高速電気軌道株式会社

2019年 11月 7日

肥後橋 駅

印

*

用紙裏面には何も貼付けないでください。

領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

23-3

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	24				
支出年月日	令和元年11月20日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）					

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご覧ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額	¥52,900
振込手数料	¥110

お受取人は

[REDACTED]銀行

[REDACTED]支店

普通 [REDACTED]

[REDACTED]

お振込人は

テラマツ タカヒコ 様

お取扱日 1.11.20 電信振込



三井住友銀行

充当内容 (按分の計算方法)	(負担 52,900円 + 振込料 110円) × 承認率 1/4 = 13,252円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	25
支出年月日	令和元年 11月 22日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input checked="" type="checkbox"/> 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）	

領 収 証

大原 様

2019年11月22日

★ ￥1,000-

便 て印刷代として
上記正に領收いだしました

内 容
郵便金額
消費税額等(税込)

高齢者立派しや市民活動センター
リードあしや
TEL 0797-26-6452 FAX 0797-26-6453

充当内容 (按分の計算方法)	市政報告会配布資料印刷代 (製版：@70×10=￥700 印刷：@1×300=￥300)
その他	印刷内容は別紙参照

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

今日のテーマ

1. 報告

- 9月定例会における一般質問について
- 平成30年度決算について

2. 意見交換

2

市政報告会

令和元年11月24日(日)

名古屋市議会 改革維新の会

大原 裕貴



9月定例会における一般質問について

一般質問テーマ

- ① 特定不妊治療の支援による合計特殊出生率の向上について
- ② 受動喫煙対策と市民マナー条例の連携について
- ③ 業務効率化を目的とした取り組みについて

9月定例会における一般質問について

特定不妊治療の支援による 合計特殊出生率の向上について

4

25-7

9月定例会における一般質問について

背景

- ◎ 合計特殊出生率が他市と比べて低い
- 35歳以上出産の割合が他市に比べても高い
- 700万円以上の所得を得ている世帯が他市よりも多い

5

9月定例会における一般質問について

芦屋の合計特殊出生率は低い

	全国平均	県平均	芦屋市	阪神南	東灘区
平成17年	1.26	1.25	1.14	1.22	1.16
平成22年	1.39	1.41	1.32	1.41	1.32
平成27年	1.45	1.48	1.34	1.49	1.51

出典：『注目！保健統計年報』

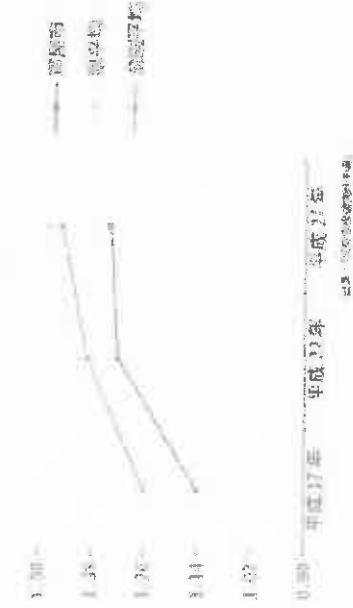
※合計特殊出生率

「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

6

9月定例会における一般質問について

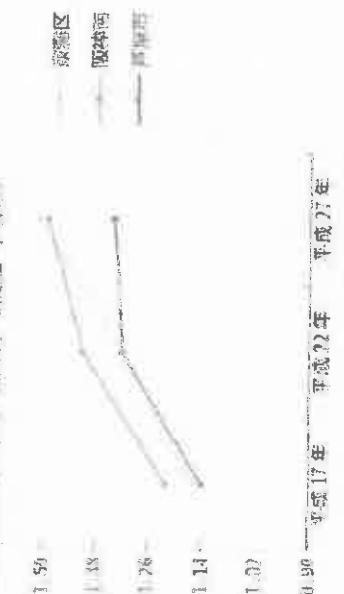
合計特殊出生率の推移（全国・県・東灘区・芦屋市）



25-2

9月定例会における一般質問について

合計特殊出生率の推移（全国・県・東灘区・芦屋市）



7

8

9月定例会における一般質問について

人口1000人あたりの出産数で見た場合

全国平均	県平均	芦屋市	阪神南	東灘区
7.6	7.7	7.1	7.9	8.0

▲人口1000人あたりの出産数（平成28年）



9

9月定例会における一般質問について

芦屋市における一般質問について

- 芦屋市における人口自然増は、近隣市に比べて低い。
- コントロールできる数値ではないものの、
芦屋市は近隣市に比べて伸びが小さい。
- 人口減少に課題があるのは誰が見てても明らか。
芦屋の現状は課題視すべきではないか？

10

9月定例会における一般質問について

芦屋は高齢出産（35歳以上）比率が高い

県平均	芦屋市	阪神南	東灘区
27.86	40.63	29.99	32.47

▲高齢出産における35歳以上の割合（平成28年）



10

9月定例会における一般質問について

芦屋は高額所得者が多い

県平均	芦屋市	神戸市	一級市、中核市
3.57	13.06	4.33	3.41

▲高額所得者における世帯当たり所得額（平成28年）



11

12

9月定例会における一般質問について

- 声優は高齢出産比率が高く、高齢所得世帯が多い
- 生物学上、高齢出産になると不妊リスク高まる。
 - 不妊治療を受ける世帯が多くなると類推される。
 - 県制度には所得制限がある（世帯所得730万円）が実際にはもつと多額の費用がかかる。
 - 必要としている世帯が多いものの、県制度ではフォローシッキング世帯が多い。

13

9月定例会における一般質問について

質問概要

- ① 特定不妊治療費助成制度を拡充できなかいか
- ② 妊娠前の世帯へのサポートを拡充できなかいか

14

9月定例会における一般質問について

質問概要：特定不妊治療費助成制度の拡充

- 兵庫県が展開する助成制度は世帯所得730万円という所得制限がある。
- 不妊治療を継続して行うとかなりの経済負担になる。
- 出生数を増やすためにも、独自での補填制度を設けられないか。（箕面市などでは独自制度で大阪府の制度を補填している）

15

9月定例会における一般質問について

質問概要：妊娠前世帯へのサポートの拡充

- 妊娠後のサポートは手厚いが、その手前のサポートは現状あまり見られない。
- 市のHPで不妊治療を検索してもページさえ存在しなかった（2019年9月9日に新規作成）
- 市が直接の担当では無いにしても、もう少しサポートの門戸を広げても良い。

16

9月定例会における一般質問について

当局答弁：特定不妊治療費助成制度の拡充

都道府県、政令市、中核市が実施主体となり、国の補助事業として進めており、県においては助成額の拡充や助成期間の延長等を実施しているため、市が独自の助成制度を設ける考えはないが、近隣市の状況について注視する。

17

18

9月定例会における一般質問について

当局答弁：妊娠前の世帯に対するサポート

県が専門知識を持つ医師や助産師による不妊不育専門相談等を実施しており、チラシや市のホームページ等で案内するとともに、保健センターの保健師にも気軽に相談してもらえるよう、周知に努める。

9月定例会における一般質問について

答弁を受けて

- 提案は異らなかつたが、市側も合計特殊出生率について課題と認識したという答弁が聞けた。
- 今後は原因分析をしながら、課題の解決策を見出したいとのこと。
- 人口減少は芦屋でも避けられないため、回避のための策を講じていく必要がある。

19

20

平成30年度決算について

平成30年度決算について（財政分析指標）

個人的（会派）の認定条件

各種財政指標の動向に問題がないこと。

- 令 認定委員（除道監査会む）による監査が実施され、認定されている決算。
- 事業の内容など、細かな部分で否決すべきではないと考える（問題の指摘はする）

21

平成30年度決算について（財政分析指標）

経常収支比率

入件費などの毎年経常的に支出される経費（経常的経費）が地方税などの毎年経常的に収入される一般財源に占める割合。この数値が高い=財政の硬直化を示す。



22

平成30年度決算について（財政分析指標）

経常収支比率

- 近年、社会保障費を中心とした経常的経費が増加傾向にあり、運動する形で年々悪化。
- H29年度は、満期を迎えた市債の一括償還が行われたため、大きく悪化している。

コストカットに頼らない経常的経費の削減を工夫する必要がある。

25-7

23

平成30年度決算について（財政分析指標）

将来負担比率

借入金（地方債）など現在抱えている負額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの。



24

平成30年度決算について（将来予測）

① 2019年度より不交付団体に

- 地方税などの歳入だけで
基本的な行政サービス費用を賄える状態。
- 一方で、税収が大幅減になった場合のリスクヘッジ機能が失われた状態＝財政基金が大事。
- ② 高齢化と人口減少
 - 社会保障費の増加が止まらない。2025年には團塊世代が後期高齢者になるため、更に加速する見込み。
 - 人口減少による市税減少も大きな不安要素。

25

平成30年度決算について（財政基金）

財政（調整）基金

- 基金は特定目的基金と財政調整基金に分けられる。
- 特定目的基金は、その名の通り特定の用途のために貯め込んでいる基金。
- 財政調整基金は年度間の財政不足を補うための貯金。
多く残った年に貯金して、足りない年に取り崩す。

26

平成30年度決算について（財政基金）

財政（調整）基金



25 - 26

平成30年度決算について（今後の課題）

- 民間にできるところは民間に
 - 人口は減るが社会保険料などは増加している。
 - 民間にできるところは民間に回し、サービスの総量を減らさずにコストを減らす努力が必要。
- コストリダクションの考え方を徹底
 - 作業効率性を向上させ、事業コストを減らす努力を。
 - 給与額＝質の良いサービスの提供とは必ずしも言えないが、大きな関係がある。人件費への着手は最後の手段。

28

平成30年度決算について（今後の課題）

- 財源確保の努力を
 - ネーミングライツなど、財源確保に繋がる施設を講じていき、市税以外の自主財源を確保する策が必要。
 - 使用料の適正化。あまりに安すぎる使用料は施設を使用しない市民への負担を強いている。

29

意見交換

30

意見交換

- フリートークを中心に。
- 懸念事項は看板として持ち帰ります。
- 現状どうなっている？というご質問には答えきれないこともあります。すみません。

31

25-2

市政報告会に関するアンケート

本日は市政報告会にご参加いただき、ありがとうございます。

今後の報告会の参考とするため、ご意見・ご感想をお聞かせください。

(該当する番号を○で囲んでください)

芦屋市議会議員 大原 裕貴

1. 開催を何でお知りになりましたか？（複数回答可）

① チラシ ② ホームページ ③ 議員から聞いた

④ その他 (_____)

2. 報告内容についてお尋ねします。

1) 内容はどうでしたか？

① 良かった ② どちらとも言えない ③ 良くなかった

その理由をお聞かせください。

(_____)

2) 説明は分かりやすかったです？

① 良かった ② どちらとも言えない ③ 良くなかった

その理由をお聞かせください。

(_____)

3) 資料は分かりやすかったです？

① 良かった ② どちらとも言えない ③ 良くなかった

その理由をお聞かせください。

(_____)

裏面にもご記入ください。

3. 本日の市政報告会に関してご意見をお聞かせください。あわせて、ご意見やご要望をお聞かせください。



ご協力ありがとうございました。